

# 正誤情報

このたびは森北出版株式会社発行の書籍をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。下記の書籍につきまして誤りのある箇所がございましたので、お詫びし訂正させていただきます。

2020年12月18日 森北出版株式会社 生産マネジメント部

## タイトル

# 基礎からわかる論理回路

## 正誤対象

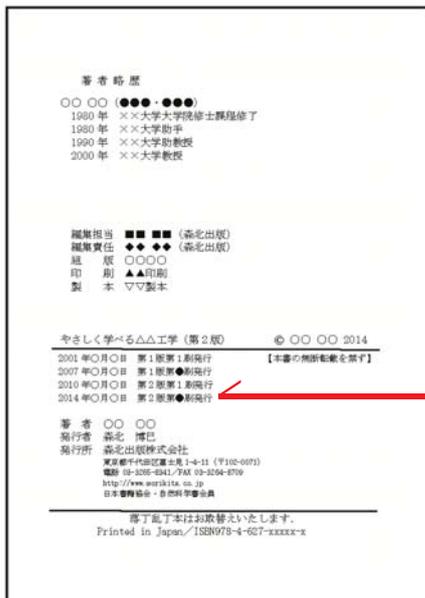
お手持ちの書籍の刷数をお調べのうえ、下の表をご覧ください。正誤表内の一番左に「対応刷数」という列がございます。該当する刷数の訂正情報をご参照下さい。

なお、刷数につきましては下記「刷数の調べ方」をご参照ください。

お持ちの本の刷数	
3	対応刷数 3 より 11 までをご参照ください
4	対応刷数 4 より 11 までをご参照ください
5-11	対応刷数 11 をご参照ください
それ以降	現在把握している訂正情報はございません

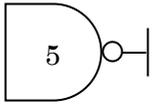
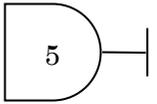
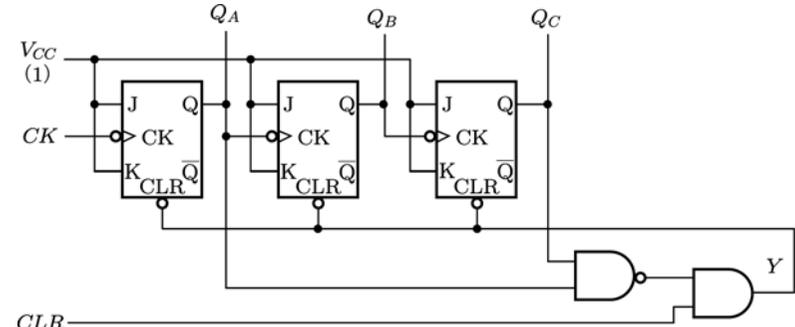
## 刷数の調べ方

本の一番後ろのページ(広告等除く)に下図のようなページがございます。ご参照いただき、お持ちの本の刷数をお調べください。



日付の最も新しい行に記載された数字がお持ちの本の刷数となります

対応刷数	頁	行数, 図・表・式番号	誤	正
3	22	例題 3-3	(b) $A + AB = A$	(b) $A + 0 = A$
3	22	例題 3-3 解 手順	(b) $A(A + B) = A$	(b) $A \cdot 1 = A$
3	27	下から 7~6 行目	… すなわち, 変数の肯定を 1, 否定を 0 として, 論理積の項を 1, 0 で表し, これを入力…	… すなわち, ①変数の肯定を 1, 否定を 0 として, 論理積の項を 1, 0 で表し, ②これを入力…
3	28	11 行目~ 12 行目	… すなわち, 変数の肯定を 0, 否定を 1 として, 論理和の項を 0, 1 で表し, これを入力…	… すなわち, ①変数の肯定を 0, 否定を 1 として, 論理和の項を 0, 1 で表し, ②これを入力…
3	31	2 行目		問題の (1) と (3) を入れ替える
3	36	4 行目 下から 9 行目	カルノー図	カルノー図のます目
3	38	下から 11 行目	カルノー図	カルノー図のます目
3	52 ~ 53	1 行目 ~ 53 頁の 5 行目		52 ページより 53 ページの 5 行目までの本文内および図を  (c) → (a), (a) → (b), (b) → (c)  と変更し, 順番を入れ替える.
4	66	図 6.6 ④	④ $Y = \overline{\overline{A + B}} = \overline{\overline{AB}} = AB$	④ $Y = \overline{\overline{A + B}} = \overline{\overline{AB}} = AB$
4	66	図 6.7 ④	④ $Y = \overline{\overline{AB}} = \overline{\overline{A + B}} = A + B$	④ $Y = \overline{\overline{AB}} = \overline{\overline{A + B}} = A + B$
3	87	図 7-26 (a)	(表の見出し) $Y \quad SUB \quad B$	(表の見出し) $SUB \quad Y \quad B$
3	97	図 9-1 (b)	(b) 論理機能による分類	(b) 論理動作による分類

4	121	図 9.36		
11	142	図 10-7	右のように修正	
3	143	下から 8行目	…までCKに対してトグル動作をする.	…までCKの立下りでトグル動作をする.
3	143	下から 5行目	$Q_B$ は $Q_A$ の出力を受けてトグル動作をする.	$Q_B$ は $Q_A$ の立下りでトグル動作をする.
3	148	下から 6~5行目	…=1のときの信号を受けて $Q_B = \dots = 1$ のときの信号を受けてトグル動作をし, $Q_A = \dots$	…=1の信号を受けて $Q_B = \dots = 1$ の信号を受けて, $Q_A = \dots$
3	148	下から 3行目	… $Q_A = 0$ のときの信号を受けて…	… $Q_A = 0$ の信号を受けて…
3	152	図 10-19	図 10-19 非同期式 4 進ダウンカウンタとタイムチャート	図 10-19 非同期式 4 進ダウンカウンタとタイムチャート ( $CLR=1$ )
3	153	図 10-20	図 10-20 同期式 4 進ダウンカウンタのタイムチャートの作成	図 10-20 同期式 4 進ダウンカウンタのタイムチャートの作成( $CLR=1$ )
3	155	図 10-22 (b)	(b)	(b) ( $CLR=1$ )
3	157	問図 10-1 問図 10-3	問図 10-1 問図 10-3	問図 10-1 ( $CLR=1$ ) 問図 10-3 ( $CLR=1$ )

3	158	図 11-2		
3	161	図 11-6	図 11-6 JK-FF によるデータのシフト	図 11-6 JK-FF によるデータのシフト ( $PR=1, CLR=1$ )
3	163	図 11-8	図 11-8 3 ビットリングカウンタ(10 進数 3 進カウンタ)とタイムチャート	図 11-8 3 ビットリングカウンタ(10 進数 3 進カウンタ)とタイムチャート ( $PR_B=1, PR_C=1$ )
3	163	図 11-9	図 11-9 3 ビットジョンソンカウンタ(10 進数 6 進カウンタ)	図 11-9 3 ビットジョンソンカウンタ(10 進数 6 進カウンタ) ( $PR=1, CLR=1$ )
3	165	図 11-10	図 11-10 自己修正形 10 進数 6 進ジョンソンカウンタ	図 11-10 自己修正形 10 進数 6 進ジョンソンカウンタ ( $PR=1, CLR=1$ )
3	169	3.4		(1) と (3) を入れ替え
3	185	9.8	(2)マスタスレーブ (3)エッジトリガ (4)ポジティブエッジトリガ(5)ネガティブエッジトリガ	(2)マスタスレーブ型 (3)エッジトリガ型 (4)ポジティブエッジトリガ型(5)ネガティブエッジトリガ型
3	187	解図 10-3	解図 10-3	解図 10-3 ( $PR=1$ )
3	188	解図 10-4 解図 10-5	解図 10-4 解図 10-5	解図 10-4 ( $PR=1$ ) 解図 10-5 ( $PR=1$ )